

ひまわり組 だより 2月号

令和5年2月20日 ことり保育園 担当:石田

暦の上では春ですが、まだまだ、寒い日が続いています。そんな中でも寒さに負けず、子ども達は元気いっぱいです。

先日、園庭にて保育者を鬼にしてあにごっこをしました。タッチされた子は描いた円の中で待つように約束してあにごっこを始めました。遊具の陰に隠れたり、動き回って逃げるなどさまざまな行動が見られました。全員をタッチして保育室に戻ることを伝えおと思った時に子ども達同士で何やら真剣に話し合っており聞き耳を立てると「汽車の後に隠れたらタッチされちゃった」「ライオンの遊具ならみつからないかも」「ずっと早く走ればつかまらないよ」と作戦会議をしていました。子ども達の考えて行動する力を感じられる一場面でした。

また、子ども達が室内遊びをしているときのことで、立体的に組み立てた木々の中にプラスブロックで作った恐竜を歩かせているグループがあり、さらに遊びが広がるように「家も建てたらいいんじゃない?」と提案すると、子ども達から「恐竜の時代だから家はない」と…。

守易に発言してしまたことにはおとして見守ることにしました。遊びの中にストーリーがあり、子ども達が想像力を働かせて仲良く遊ぶ姿に成長を感じています。これからも子ども達のイメージを大切に、さらに膨らませられるように、日々の実体験を保育の中で積み重ね、子ども達の興味関心が引き出せるように心掛けていきたいです。

